

新しくなった埋蔵文化財

ここが見どころ！

①札幌市指定有形文化財



▲文化財調査員の柏木大延さん

展示室に入るとまず目に飛び込んでくるのが、札幌市の有形文化財に指定されている **N30遺跡出土土偶**（写真表紙中央）と **旧琴似川流域の竪穴住居跡分布図**（写真下）です。

N30遺跡は西区二十四軒4-1に所在する縄文後期から晩期の遺跡で、この土偶は墓と考えられる穴（土坑墓）の上から見つかった、高さ24センチと大型なものです。

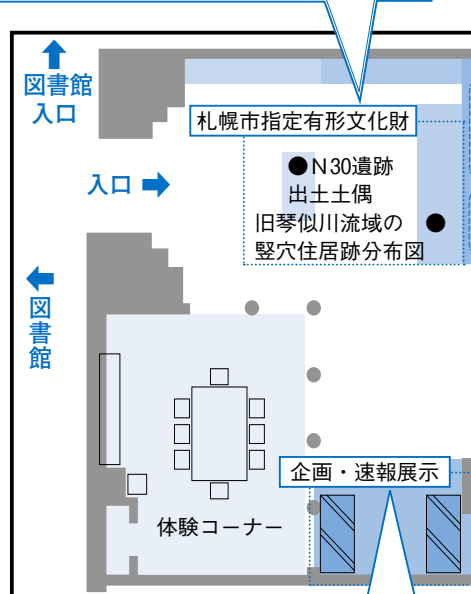
また、旧琴似川流域の竪穴住居跡分布図は明治27～28年（1894～1895年）ごろに高畑宜一氏によって制作されたもので、擦文文化ころの竪穴住居跡のくぼみが記録されているほか、当時の道路・鉄道・建物などが記載された資料的価値が非常に高いものとなっています。ここでしか見ることのできない貴重な展示となっていますので、ぜひご覧ください。



▲展示室に入るとすぐに見えます



▲旧琴似川流域の竪穴住居跡分布図



続縄文文化、擦文文化って？

北海道には、本州とは異なる独自の時代区分があるのはご存じでしょうか？本州では縄文文化以降、弥生文化～古墳文化～奈良時代～平安時代と続いていきますが、北海道では弥生文化には移行せず、続縄文文化～擦文文化～アイヌ文化期と続いてきました。

本州と北海道の時代区分の対比は下記の通りです。

本州の時代区分	旧石器文化	縄文文化						弥生文化	古墳文化 飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	安土・桃山時代	江戸時代
		草創期	早期	前期	中期	後期	晩期								
	2万年前 1万5千～1万6千	1万年前	7000年前	5500年前	4500年前	3000年前	2300年前			1300年前		800年前			

北海道の時代区分	旧石器文化	縄文文化						続縄文文化		擦文文化		アイヌ文化期
		草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	オホーツク文化				

今回このページで取り上げた以外にも、レプリカの土器や火おこし道具に触れることができる**体験コーナー**や、札幌市内の遺跡分布状況、埋蔵文化財センターの仕事を紹介するコーナーもあります。ぜひ、実際に足を運んでいただき、札幌の歴史を体感してみてください！

▼開館時間・入館料 8時45分～17時15分・無料

▼休館日 祝・休日、年末年始（ただし、5月3～5日、11月3日は開館）

お問い合わせ 札幌市埋蔵文化財センター（南22西13）

☎512-5430 ☎512-5467

お知らせします。
<http://www.city.sapporo.jp/kankobunka/maibun/>で
 どちらの取り組みについても本年度も実施予定ですので、実施時期になりましたら広報さっぽろ全市版や埋蔵文化財センターのホームページで
 お知らせします。



▲企画・速報展示のコーナー。現在平成25年度に実施した発掘調査の成果



▲昨年度の発掘調査の様子